

市政に対する

一般質問

11名の議員が質問

6月定例会の一般質問は、
6月23日及び24日の2日間に
わたり行われました。
質問の要旨は次のとおりです。

格差社会が教育に影響していないか。
就学援助を問う 他

吉田 貞子

認知症の介護について 他

保科 惣一郎

駆けつけ保育サービスについて 他

安藤 佳生

全国学力テストの活用と学力向上策について 他

佐久間 儀郎

遊休施設の活用について

四竈 英夫

企業誘致について 他

制野 敬一

第4期介護保険事業計画（平成21年～23年）について 他

水落 孝子

さらなる市民サービスの向上について 他

山田 裕一

白石市土地開発公社の裁判について

沼倉 昭仁

小中学校に太陽光発電パネルの設置を！ 他

菅野 恭子

新教育長の教育行政に対する基本的考え方について

沼倉 啓介

格差社会が教育に影響していないか。 就学援助を問う 吉田 貞子

【質問】就学援助は、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して、市が援助を行うものである。

これが年々増加傾向にあり、当市では県平均を上回り、約10%の受給率となっている。
①児童生徒の1割が経済的困窮にあることをどう考えるか。

② 受給方法は申請方式だが、制度の周知はどのようになっているか。

③ 認定の総合的な勘案の意味は。

④ 認定のボーダーライン上の世帯への配慮はないか。

【その他の質問】

○教育の重点事項について他

【答弁】【教育長】①世界同時不況の中、就学援助がふえて

いることは非常に不幸な面があるが、しっかりと手当てができていますと考えている。

②入学前の就学健診時である12月と1月に制度についてのチラシ等を配布している。

③白石市児童生徒就学援助要綱に係る運用細目にある、児童福祉手当の支給、生活福祉

資金の貸し付けをはじめとする7点が規定されており、配慮しながら対応していきたい。

なお、就学援助については、生活保護法に基づき申請保護

が原則である。各学校においては給食費・

校納金の納入状況等を勘案して、学校から積極的に相談を持ちかけているのが現状である。

④子どもの実態が該当するのであれば、救っていく方向で進めている。

その顕著な例が、修学旅行等の前になると積み立てが未納である等がはつきり見えてくる。

そのときに学校として積極的にかかわり、就学援助手続を進めているところである。

